

～子どもが企画して、子どもが参加して、地域の皆さまの協力を得て～

11月1日晴れ。広報せんなん10月号に掲載した「空き缶ハロウィンの日」です。子どもたちの「トリック・オア・トリート」の声に空き缶を提供くださった、牧野公園から長山公園までの商店街の皆さま、本当にありがとうございました。ナイロン袋でつくったマントや、ドレス、自前の衣装など、ちょっぴりハロウィンという雰囲気の子どもたち。「こうもり」「魔女」「ミイラ」「おばけ」「かぼちゃ」の5チームに分かれて、グループリーダーが中心になり、メンバーと気持ちをあわせながら店をまわり、パレード



ドをしました。子どもたちに、「^{ハッピー}HAPPYハロウィン」と声をかけてくださったり、ダンボール箱一杯に空き缶を集めてくださったり、当日閉店のところは、袋に「がんばってくださいね」というメッセージを書いてくださったり、応援してくれるおとなが身近

にいと実感できるすばらしい経験になりました。

【子ども委員の感想】

- みんなとコミュニケーションがとれてうれしかった
- 人が集まるのかなと心配でしたが、たくさんの子どもたちが集まってくれて、とても楽しかった
- みんなが楽しんでくれてなによりでした。今までがんばってよかった
- 一からイベントを思いつき、実際にできたのでうれしい

【参加した子どもたちの感想】

- いろいろな所をまわられてうれしかった
- 「トリック・オア・トリート」と言えて楽しかった
- 空き缶をつぶしたり、積んだりするのが楽しかった
- ▼空き缶は40kgありました。リサイクルして、公園に植える花の苗を買うことにします

【問合せ】 泉南市子どもの権利に関する条例事務局（人権教育課 ☎ 483-3672 / FAX483-7306 / e-mail:jinkenkyouiku@city.sennan.lg.jp）